

Injury Alert (傷害速報)類似事例

髪ゴムによる前腕・手指外傷 (No 68 玩具による指ターニケット症候群の類似事例 3)

事例	基本情報	年齢：0歳 1か月 性別：男児 体重：5.6kg 身長：53cm
	家族構成	父、母、姉(5歳)、兄(2歳)
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		左前腕ターニケット症候群、左手背水疱
医療費		外来 22,250円
原因対象	対象名称	髪ゴム (輪状で直径5cm)
	入手経路 使用状況	海外のスーパーで4年前に大量購入した(図1)。自宅に同じ髪ゴムがたくさんあり、収納場所は決まっておらず、色々な場所に置かれていた。普段は本児の姉の髪を括るのに使われており、姉自身も人形に使用していた。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	午後6時、夕食後に父が本児と入浴した。父が沐浴後に本児に長袖の服を着せ、いつも通り居間に寝かせていた。最近、姉は兄を構いたがる。
	発生日月日	2021年10月X日(火) 午後6時30分頃
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	居間で本児が沐浴後に寝ている際に、姉は本児をお世話する様なおままごとをして遊んでいた。午後7時30分頃から母は本児を抱っこ紐に入れて家事をし、午後8時頃に就寝させた。本児は、母が抱っこ紐で抱っこしている時から翌朝まで機嫌が悪かった。母は原因が分からずに、頻回に哺乳をさせて対応した。翌日午前5時に、母が本児の左手背に水疱があることに気が付き、さらに本児の衣類の袖をめくって確認したところ、二重になった髪ゴムが前腕にはめられていた(図2)。母が自宅で髪ゴムを外した。その直後から医療機関を探したが見つけられず、救急要請をして午前8時前に搬入先が決定した。医療機関受診後に、姉が本児の腕に付けたと証言した。

医療機関受診時
以降の治療経過
転帰

午前 8 時に受診した。髪ゴムがはめられていたと考えられる位置に挫創、皮膚発赤を認め、その部位より末梢側の皮膚は赤紫色であった(図 3)。左手背には最大径約 3 cmの水疱を認めた(図 4)。同日、皮膚科を受診し、ヒドロコルチゾンとジメチルイソプロピルアズレン塗布で加療。処置中に水疱が破れた。さらに、整形外科受診もしており、腕、手指の運動障害はなく、コンパートメント症候群も否定的と診断された。X+10 日後の再診の際は、手背の水疱と髪ゴムがはまっていた前腕の表皮剥離は治癒しており癒痕となっていた。手指、腕の機能障害は認めなかった。



図 1. 髪ゴム (直径約 5cm)



図 2. 二重になった髪ゴム(直径約 2.5 cm)



図 3. ゴムがはまっていた左前腕内側の表皮剥離
前腕表皮剥離部より末梢側の皮膚が暗紫色であった。



図 4. 左手背の水疱
水疱が形成された左手背と前腕に全周性の発赤を認めた。